

研究へのご協力についてのお知らせ

—情報を用いる研究に関する情報公開文書（オプトアウト）—

当センター呼吸器外科では、下記の研究を実施しております。この研究は、過去の診療で得られた情報（診療録・手術記録・画像所見等）を用いる後ろ向き観察研究であり、患者さんお一人おひとりから直接同意をいただく代わりに、研究の内容をこのように公開し、拒否の機会を保障する方法（オプトアウト）で実施しています。研究に用いられることを希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。お申し出により診療上の不利益が生じることは一切ありません。

1. 研究課題名

特発性血気胸手術例における術中活動性出血と術前所見との関連

2. 研究機関名および研究責任者

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 呼吸器外科

研究責任者（職名・氏名）：副部長 揖斐 孝之

3. 研究の目的・意義

特発性血気胸は、けがや医療行為によらず自然に発症した気胸（肺から空気がもれて肺がしぼむ状態）に、胸の中への出血を伴う病気です。まれですが命にかかわる出血をきたすことがあり、早めの手術が勧められています。しかし、来院された時点の所見（血圧・脈拍・血液検査など）から、手術中に出血が続いている患者さんを見分けられるかどうかは、まだよくわかっていません。本研究は、当センターで手術を受けられた患者さんの情報を分析し、手術中の出血の有無と来院時の所見との関係を明らかにすることで、今後の手術のタイミングや適応の判断に役立てることを目的としています。

4. 研究の対象となる方

2010年9月から2025年12月までの間に、当センターで特発性血気胸に対して手術を受けられた患者さん（22名）。

5. 研究の方法・研究期間

カルテ（診療録）・手術記録・画像検査の結果から、診療の過程で得られた情報を収集し、統計的に分析します。新たに検査や治療を行うことはありません。

研究期間：倫理委員会の承認後から、令和 9 年 3 月 31 日 まで。

6. 利用する情報の種類

年齢、性別、患側（左右）、喫煙歴、気胸の既往、来院時のバイタルサイン（血圧・脈拍・酸素飽和度）、血液検査値、画像所見、胸腔ドレーンからの排液量、手術所見、手術内容、術後の経過、在院日数、転帰（再発・追跡状況）など。氏名・生年月日・住所など、個人を直接特定できる情報は使用しません。

7. 個人情報の保護

収集した情報は、氏名やカルテ番号を削除し、症例番号に置き換えて管理します。個人が特定できない形で取り扱い、情報は施設内で厳重に保管し、外部への持ち出しや第三者への提供は行いません。

8. 研究成果の公表

本研究の成果は、学会や学術雑誌などで公表する予定です。公表にあたっても、個人が特定される情報は一切含めません。

9. 研究資金および利益相反

本研究は当センターの通常の診療情報を用いて行うものであり、特定の企業等からの資金提供や、開示すべき利益相反はありません。

10. お問い合わせ・研究への利用を希望されない場合

この研究にご自身の情報が利用されることを希望されない場合は、下記までお申し出ください。お申し出はいつでも可能で、それにより診療上の不利益を受けることは一切ありません。なお、すでに学会・論文等で公表された後は、削除できない場合がありますことをご了承ください。

【お問い合わせ先】

研究機関：埼玉県立循環器・呼吸器病センター

部署：呼吸器外科

研究責任者名：揖斐 孝之

電話番号：048-536-9900

作成日：令和 8 年 7 月 22 日